



重症患者の治療をするICU(集中治療室)ができました

西側部分には救急車専用出入口も新設。3階の窓がICU



市立病院の救急医療体制が充実！

平成11年7月から行っていた市立秋田総合病院の増改築工事が完成しました。

新しくICU(集中治療室)、脳神経外科、心臓血管外科を設け、救急車専用出入口や救急室を充実させるなど、救急医療に対応する機能を強化したものです。総事業費は医療機器も含めおよそ13億7,000万円です。

脳神経外科と心臓血管外科を新設

脳神経外科は、頭部外傷や脳出血、脳の血管が詰まる脳梗塞などの診療を行います。また、心臓血管外科は狭心症や弁膜症などの心臓の病気に対する診療を行います。いずれも専門の医師を配置し、4月2日から診療を開始します。これらの診療科目は、救急患者の収容も多いと予想されるため、救急医療にも大きな備えとなります。

一方、4月から診療科目を、例えば、第一内科を循環器内科、第二内科を消化器内科・代謝科など、診療内容がわかりやすい名称に変更します。

ICU(集中治療室)も4月から稼働

ICUは、重症患者を収容して最も効果的な治療を行う集中治療室です。人工呼吸器や監視用装置など各種医療機器を備え、医師・看護婦のチームによる常時看護が行われます。救急車専用出入口や救急室とあわせ、救急医療体制が充実・強化されました。

さらに、近年需要が多い入院個室を増やし、院内学級(なかよし学級)の専用教室の新設、人工透析室や健康管理センター(人間ドック)の拡充なども行いました。

火をつけた あなたの責任 最後まで

4月1日～7日

春の火災予防運動

秋田市で昨年1年間に発生した火災は110件で、損害額は約2億7,000万円にのぼりました。

火災の原因は、放火(疑いを含む)が最も多く、次いでたき火、タバコ、コンロ、ストーブの順...

火の用心7つのポイント

1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない
2. 寝タバコやタバコの投げ捨てをしない
3. 天ぶらを揚げるときは、その場を離れない
4. 風の強いときは、たき火をしない
5. 子どもには、マッチやライターで遊ばせない
6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
7. ストーブには、燃えやすいものを近づけない

4月1日(日)午前7時～7時40分、消防団合同訓練のため、千秋公園中土橋から県民会館裏にかけての通りが車両通行止めになります。ご協力ください。



最新のコンピュータ機器が並ぶ指令室

秋田市消防本部の新しい消防総合通信指令システムが、三月二十二日から稼働しました。最新のコンピュータと通信技術を使い、119番通報を受けてから消防車や救急車が出動するまでの時間を短縮。119番通報者の住所と付近地図をモニター画面に瞬時に表示し、早く、確実に災害地点の把握を行えるなど、一分一秒を争う消防・救急活動がより充実したものになりました。新システムの総事業費はおよそ五億九千万円です。

119番出動までの時間を短縮！ 消防に新通信指令システム